

加布里っ子だより

文責 校長 伊藤 由美子

かんがえる かしこい子ども
ふれあい つながる子ども
りっぱに やりとげる子ども

◇6年生を送る会～ありがとう6年生～◇

今まで、加布里小のリーダーとして、下級生の面倒を見たり、それぞれの委員会で学校生活をよくするための活動をしたりしてくれた6年生。2月17日(土)の「6年生を送る会」では、そんな6年生に対して今までの思い出を振り返り、在校生から感謝の気持ちを伝えました。



【1年生】劇と歌
「くじらぐも」

入学当初から、6年生にはたくさんお世話になりました。一つ一つの言葉をはっきりと、大きく言うことで、感謝の気持ちをしっかりと伝えました。



【2年生】合奏と合唱
「ありがとう大作戦」

全員の台詞と動き、歌声がよく合っていました。合奏は、難しい曲に挑戦し、とても上手に演奏できていました。練習の成果が出て、6年生へのエールになりました。



【3年生】合奏と呼びかけ
「リコーダーに気持ちを込めて」

「パフ」の優しい音色が、聞いている人を温かい気持ちにさせました。今年からリコーダーを始めた3年生でしたがとても上手に演奏できていました。



【4年生】合奏と合唱
「ありがとう」

4年生の力強い歌声が体育館いっぱいに広がりました。みんなが心を一つに堂々と歌う姿は、これまでの練習の成果が現れていました。また、見ている6年生も元気をもらったことと思います。



【5年生】合奏と合唱
「君がぼくのヒーローだった」

テンポが速く、軽快なリズムに合わせた合奏は、全員の息がぴったりと合っていました。また、呼びかけからは、「来年は、自分たちが最上級生になるんだ」という決意が伝わってきました。



【6年生】ミュージカル
「みんなをひとつに」

さすが、6年生。それぞれの学年のいいところを入れ込んだ加布里小のオリジナルカレーを作ってくれました。下級生との思い出を胸に中学校へ進学してください。

◇いつもおいしい給食、ありがとうございます!給食記念週間◇

1月末から、各学級で給食記念日についての学級指導を行いました。この授業は、給食記念週間を機会に、給食の歴史や仕組みを知り、給食と給食調理員さんをはじめ、給食に携わる人々に対する感謝の気持ちを育てることをねらいとしています。

子どもたち全員で学年ごとに、いつも安全でおいしい給食を作ってくださいる調理員さんや生産者の方にプレゼントや手紙を渡しました。1年生の分は給食室前に掲示してあります。

日本の学校給食は、明治22年に始まり、各地に広がっていきましたが、太平洋戦争の影響などによって中断されました。しかし、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したため、学校給食再開の声が高まり、昭和21年12月24日、東京の一部の学校で学校給食が再開されました。この日は冬休みになることがあるため、1ヶ月後の1月24日を「学校給食記念日」とし、1月24日から30日までを「全国学校給食週間」と定められています。



1年生から
調理員さんへ
のプレゼント

1月19日の
給食の献立



◇ありがとう!大谷翔平選手◇



岩手県奥州市出身で、ドジャースの大谷翔平選手から全国の小学校に贈られたグローブが、加布里小学校にも届きました。1月15日(月)から、6年生をスタートに、各学級でお披露目を行い、子どもたちが手にとれるようにしました。小指の部分には大谷選手のサインも印字されています。手に取った子どもたちは、大谷選手からのプレゼントに興奮気味で、野球を楽しんでもらいたいという気持ちもしっかりと受け止めたようでした。今は、休み時間等に貸出しを行い、子どもたちがキャッチボールを楽しんでいます。